



「主イエスから目を離さないで・・・」(要旨)  
ヘブル人への手紙 12章1節～3節 説教者 原田憲夫  
今週の聖句 ヘブル 12・2a

♪予期しない一年に翻弄されがちでしたが、お変わりありませんか？ 今年最終の主日を迎えました。今日の聖書は、A.D.1世紀も半ばを過ぎた頃、厳しい迫害の中で揺れ動くユダヤ人キリスト信者たちに送られた「勧め/励ましのことば」(13・22)です。新年を迎える前に、主イエス・キリスト-原点であり終着点であるお方にしっかり私たちの心を注ぎましょう！

この手紙は一貫して<イエス・キリスト-信仰の核>を指し示します。そしてこのことを「競走者」の一面から掘り下げています。

### 【1】多くの証人たちを思い起こすこと

A.D.1世紀・・・この手紙は迫害下にあつて動揺していた信仰者たちに、すでに過酷な時代の中で信仰の道をしっかり歩んだ先輩たちの証しを通して励ましを与えました(11章)。

▶そうです。私たちが試練の中に置かれた時、「雲のように私たちを取り巻いている多くの信仰に生きた証人」(12・1)がいることを思い起こしてください！

### 【2】邪魔なものを捨てて…忍耐をもって走り続けること

#### (1) 邪魔なものを捨てて

競走者は身軽です。キリストを信じる者も同じです。一切の重荷とまとわりつく罪とを捨てて…走ることが大事です。

ところがなぜ私たちは降ろしたはずの重荷をまた背負い、切り捨てたはずの罪にまとわりつかれ、疲弊しているのでしょうか。

「みことば」を思い起こしてください。

▷ I ヨハネ 2:16,17

16 すべて世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢は、御父から出るものではなく、世から出るものだからです。

17 世と、世の欲は過ぎ去ります。しかし、神のみこころを行う者は永遠に生き続けます。

最近、SNS への嫌がらせの書き込みが罪とされた事例がありましたが、不安や心配をさらにおおる言動や、もっともらしい顔をした悪意のある言動に振り回されないことです。

▷ I ペテロ 5・7

あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです。

#### (2) 忍耐をもって

信仰の危機の中で大事なものは、「忍耐」(原意;「ある特定の状況の下から離れずにとどまること」)です。

▶使徒パウロが、苦難の中での忍耐は練られた品性を生み、さらに希望を生み出すと語っていることを忘れないでください(ローマ5・3,4)。

### 【3】主イエスから目を離さないこと

「忍耐をもって走り続ける」こと-それを可能にするのが、「イエス・キリストから目を離さないこと」です。

その大切な理由が、屈辱そのものだった「十字架」に現れています(12・1b)。

罪のない、聖い、主イエス・キリストは、「辱めをものともせず十字架を忍び」通されました。神の愛-十字架がすべての屈辱に打ち勝ち、救いのみわざを実現したのです！

▶信仰の創始者であり完成者であるキリストを信じる者はみな、罪赦され、永遠の救いにあずかることを忘れないでください。

#### 【招き】

キリストを信じる走者の先には輝かしい栄冠(ゴール)が待っています。「天の故郷」(11・16)、「揺り動かされない御国」(12・28)。<永遠の平安に満ちた神の家>です。

さあ、主イエスから目を離さず、忍耐をもって信仰の道を走り続けましょう！

主イエスの聖さと正義、栄光を鏡に映し出すことに励み、ご聖霊によって主と同じかたちに姿を変えられていくことを待ち望みつつ、目標を目指して走り続けようではありませんか！

\*祈り

\*賛美

